

平成 31 年度（令和元年度）の事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人灯す屋

1 事業の成果

平成 31 年度（令和元年度）に実施した事業は以下のとおりである。

<空き物件の管理及び活用推進事業>

平成 30 年度に引き続き、空き物件の相談窓口を開設した。相談件数は 1 年間で 128 件あり、有田町の空き家・空き店舗のニーズの高さを感じると同時に、ますます空き物件の活用推進を図る必要性を感じている。空き物件見学ツアーには、52 人（計 11 回開催）の参加者があった。空き物件に興味がある人たちが初めから不動産業者に行くよりも低いハードルで空き物件を見ることができると、集客に苦戦しているものの、引き続き一定のニーズがあると感じている。うちやま百貨店は、11/23～24 の 2 日間開催した（3 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した）。前回までより開催エリアを拡大し、上幸平地区から中の原地区までの空き店舗を活用した。また、ポスター及びフロアガイドのデザインには、有田工業高校デザイン科の学生にも協力して頂き作成した。当日は天候にも恵まれ、多くのお客様にお越し頂くことができた。

新規事業としては、有田町空き物件活用推進ネットワーク（以下、ネットワーク）の形成及び移住者用住宅「アリタスタートアップハウス」の改修を行った。まず、ネットワークの形成に取り組む理由としては、先述の通り、空き物件の活用推進をより加速させていくために複数の専門家と一緒に空き物件の抱える問題解決に取り組む必要があると感じているためである。また、移住者用住宅の改修に取り組む理由としては、いま有田町内に移住する前の人たちが利用できるお試し住宅はあるものの移住してきた人たちが住むことができる物件はないことや、灯す屋が移住者への充実した支援を行うことができることなどである。いずれの事業もスタートした段階で、今後発展させていきたいと考えている。

最後に、佐賀県庁が取り組んでいるふるさと納税（NPO 支援）を開始した。本事業は灯す屋への寄附を増やすだけでなく、灯す屋をご支援頂いている事業者の方々の収入を増やすことにも繋がっている。今年度はさらに事業者数や出品数を増加していきたいと考えている。

<移住・定住支援事業>

平成 31 年度（令和元年度）は、有田町よりお試し住宅の運営委託を受け実施した。利用者は 4 組で、それぞれ 2 週間～1 か月という利用期間であった。灯す屋では利用者の受入れのほか、利用中のヒアリングを行い、利用者の関心の高い分野に関する情報（空き家、仕事…など）を随時提供することをを行った。利用者数については、広告を行っていないことやキャンセル率の高さなどが挙げられる。

佐賀県庁からの委託事業として、平成 30 年度に引き続き、「MEETUP! SAGA」という移住者交流イベントの企画及び運営を行った。佐賀西部・東部・中部でそれぞれ実施し、移住者・移住希望者・地域住民が交流し佐賀の暮らしの良さを語り合う機会をつくることができた。また、オンライン移住トークイベント「暮らしたいまちは、自分でつくる。－MEETUP! SAGA 番外編－」では YouTube を利用したオンラインでのトークライブを開催した。嬉野編は 600 回、有田編は 300 回以上の視聴回数を記録し、遠方に暮らす人たちにも佐賀暮らしについて伝えることができた。

その他、NPO 法人さが市民活動サポートセンターより「さが地域ッズサポーター及び地域おこし

協力隊支援業務委託」を受け、佐賀市富士町地域おこし協力隊 OG の門脇恵氏と共に、代表理事の佐々木が本事業に取り組んだ。主に、佐賀県庁が実施するさが地域ッズサポーター5名の活動支援と共に、県内の全協力隊向けに年4回の研修を実施した。

<後継者育成支援事業>

平成30年度に取り組んだ「ちゃわん最中復活プロジェクト」ではちゃわん最中の試食及びイベント開催を実施したが、平成31年度（令和元年度）はちゃわん最中を実際に販売していくために、佐賀県庁の「自発の地域づくり補助事業」に申請し、実施していくこととした。計3年度の補助事業の初年度は、実際に試作品を販売することを目標に取り組んだ。その結果、3/23～24の2日間、春陽堂にて試作品の販売を実施することができ、多くのメディアに取り上げて頂いたこともあって、町民をはじめ多くの方々に高い関心を持って頂いた。令和2年度は、恒常的な販売体制の構築と各種イベント開催を行っていく予定である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①空き物件の管理及び活用推進事業	空き家活用推進のため講演会を実施した。(さがCSOさいこう補助事業)	(A)8月18日(日) 10:00～13:00 (B)生涯学習センター (C)8名	(D)空き物件所有者 (E)20人	90
	第1回有田町空き物件活用推進ミーティングを実施した。(さがCSOさいこう補助事業)	(A)12月9日(月) 10:00～12:00 (B)春陽堂 (C)7名	(D)空き物件所有者、空き物件活用希望者 (E)1300人	16
	第2回有田町空き物件活用推進ミーティングを実施した。(さがCSOさいこう補助事業)	(A)3月5日(木) 10:00～12:00 (B)春陽堂 (C)8名	(D)空き物件所有者、空き物件活用希望者 (E)1300人	10
	有田町空き家活用推進のためのホームページ等を作成した。(さがCSOさいこう補助事業)	(A)3月 (B)町内各所 (C)10名	(D)空き物件所有者、空き物件活用希望者 (E)1300人	183
	空き物件見学ツアーを実施した。(空き家マッチング委託事業)	(A)4月20日(土) 15:00～16:30 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)12人	120

	(A)5月25日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)3人	—
	(A)6月22日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)9人	—
	(A)7月27日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)3人	—
	(A)8月24日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)1人	—
	(A)9月28日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)5人	—
	(A)10月27日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)3人	—
	(A)11月30日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)4人	—
	(A)12月20日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)3人	—
	(A)1月25日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)6人	—
	(A)2月22日(土) 13:30~15:00 (B)有田町内 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)3人	—
リノベーションカレッジを開催した。	(A)4月20日(土) 13:30~15:00 (B)手塚商店 (C)2名	(D)空き物件活用希望者 (E)12人	45

		(A)6月22日(土) 13:30~15:00 (B)kasane (C)3名	(D)空き物件活用希望者 (E)15人	—
		(A)8月24日(土) 13:30~15:00 (B)春陽堂 (C)3名	(D)空き物件活用希望者 (E)6人	—
		(A)10月19日(土) 13:30~17:00 (B)橋本邸 (C)1名	(D)空き物件活用希望者 (E)9人	—
	うちやま百貨店(空き店舗活用イベント)を開催した。	(A)11月23-24日(土-日) 10:00~17:00 (B)有田内山地区 (C)3名	(D)空き店舗所有者、出店者、町民、観光客 (E)約5,000人	508
	空き物件の相談窓口を開設した。(空き家マッチング委託事業)	(A)毎日(水日祝除く) (B)春陽堂 (C)1名	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)162人	1523
	空き物件を紹介するホームページの運営を行った。(空き家マッチング委託事業)	(A)1月7日(月) (B)佐賀商工ビル (C)2名	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)30人	160
	アリタスタートアップハウスの改修を実施した。(佐賀県地域づくりスタートアップ事業)	(A)10月~3月 (B)アリタスタートアップハウス(有田町本町) (C)約30人	(D)移住者、町民 (E)100人	4578
	ふるさと納税の事業委託(返礼品送付)を行った。	(A)10月~3月 (B)佐賀県内 (C)2人	(D)県内事業者、支援者 (E)20人	1790
②移住・定住支援事業	お試し住宅の管理運営を行った。(有田町委託事業)	(A)4~3月 (B)有田町内 (C)3名	(D)移住希望者 (E)10人	360
	移住の相談窓口を開設した。	(A)4~3月 (B)有田町内 (C)2名	(D)移住希望者 (E)100人	1173
	移住者交流イベント「MEETUP! SAGA」を実施した。(佐賀県移住者の集い委託事業)	(A)10月5日(土) 15:00~22:00 (B)鹿島市 (C)3名	(D)移住者、移住希望者、地元在住者 (E)23人	670

		(A)12月14日((土)) 13:00～20:30 (B)神崎市 (C)3名	(D)移住者、移住希望者、地元在住者 (E)55人	—
		(A)2月15日(土) 10:00～20:30 (B)白石町 (C)3名	(D)移住者、移住希望者、地元在住者 (E)19人	—
	オンライン移住トークイベント「暮らしたいまちは、自分でつくる。—MEETUP! SAGA 番外編—」を実施した。(佐賀県西部の移住定住促進委託事業)	(A)3月7日(土) 17:00～19:00 (B)嬉野市 (C)3名	(D)移住者、移住希望者、地元在住者 (E)593人	448
		(A)3月22日(日) 18:00～20:00 (B)有田町 (C)3名	(D)移住者、移住希望者、地元在住者 (E)243人	—
	佐賀県地域おこし協力隊のサポートを行った。(さが地域ツズサポーター及び地域おこし協力隊支援業務委託)	(A)4～3月 (B)佐賀県内 (C)2名	(D)佐賀県内の地域おこし協力隊 (E)30人	2169
③後継者育成支援事業	ちゃわん最中の試作品製造・販売を実施した。(佐賀県自発の地域づくり補助事業)	(A)3月 (B)春陽堂 (C)6人	(D)町民、観光客 (E)200人	990

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①物品販売事業	実施しなかった。	(A) — (B) — (C) —	—

※定款第5条に「その他の事業」を定めていない場合は、表を削除

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。
- 「事業費の支出金額」欄は、活動計算書の「管理費」は含まない。